

海老名市立海西中学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第3回)

- 1 日時 令和6年2月27日(火) 13:20~15:20
- 2 場所 海老名市立海西中学校 会議室
- 3 出席委員 吉川典章委員長、内藤奈美恵副委員長、加来功委員、萩谷晃子委員、
鍵渡香代子委員、遠藤一義委員、別府裕二委員、盛智史委員

4 会議の内容

- (1) 会長あいさつ(吉川会長)
校長あいさつ(遠藤校長)

(2) 授業参観

(3) 協議

(1) 今年度の取り組みの成果と課題

①異校種交流について

ア. 中央農業高校 2年生職場体験受入れ(11月28日、29日)

遠藤校長:園芸科学科と畜産科学科にそれぞれ3名ずつ受け入れていただいた。農業(職業)の体験として受け入れていただいたので、飼育小屋の清掃など生の体験はとても有意義であった。今後も継続したい。

加来委員:講座として行うのではなく、仕事として実際にやってもらった。体験を通じて何を学んだのかが大切で、手紙を読んだらよい体験になったと思うのでよかった。次年度以降も職場体験としての受け入れは可能。

イ. 海老名幼稚園の園児と3年生の交流(3月4日計画)

遠藤校長:小さな子供と触れ合う中で、優しい気持ちについて考えてほしい。また、義務教育修了前に自分の成長を感じるとともに、ここまで関わってきた人へ感謝の気持ちを持ってほしいと思うので企画した。30分程度、園児と触れ合い当日は手作りのお土産を渡す予定。

鍵渡委員:よい交流ができると思うので期待している。職場体験は、今年度は日程が合わず実施できなかったが、来年度以降も実施可能。

②今年度の取り組みを通じて ~ 令和6年度に向けて

遠藤校長:有鹿小のサマースクールの手伝いが実施でき、来年度は中新田小の行事に

も手伝いで参加を予定している。異校種交流を広げていき、地域や自治会などの地元にも貢献できる場をつくっていききたい。

内藤委員：令和6年に向けて発展させていくためには、情報提供が限られることが課題。個人発信が難しいのでホームページやSNSなどの活用もあればよいと思う。自治会の祭りなどに中学生が参加すると華やかな雰囲気になりよかった。また、サマースクールのボランティアは継続させていきたい。

萩谷委員：えびな支援学校では、イベントをホームページに掲載し、SNSでも発信している。文化祭では、地域の学校を招待した。

加来委員：中央農業高校では、ホームページの更新を多くして、情報を発信している。

鍵渡委員：海老名幼稚園ではブログで情報を発信している。

(2) 令和6年度 学校経営方針について

遠藤校長：「人間関係づくり」を大きな柱としていきたい。海西中は校内研究で「人間関係づくり」を大切にしてきた。その土台にいろいろなものが関連して、肥大化した部分があるので、もう一度、土台を大切にしていきたい。もう1つの柱である「主体的・対話的で深い学び」と分けて、重点目標である【「優しさ」について考える】を進めていきたい。

(3) 1年間のまとめ

内藤委員：いろいろ考えてもらっているので、よりよい学校になってほしい。50周年の式典が無事に終わり、新たに51年目以降をつくってほしい。

萩谷委員：同じ海老名にある学校で話ができてよかった。これからも連携をしていきたい。

鍵渡委員：一番近い学校なので、これからも職場体験や園児のふれ合い体験など交流を継続していきたい。

加来委員：地域にいろいろな学校があって成り立っているので、連携を大切にして、地域にあってよかったといわれる学校をつくっていききたい。

吉川委員：いろいろな話ができることがよかった。コロナ禍で書面開催など本当の関係づくりづらいこともあったので、顔を合わせて話をしたり、感じたりすることができてよかった。

別府教頭：何かのときに助け合えるのは顔を合わせているからである。今後も中学生がどんどん地域と連携がとれるようにしたい。

遠藤校長：いろいろな意見から自分の考えが漠然から具体になった。次年度以降もいろいろな意見をいただき、さらによくしていきたい。

(4) その他

令和6年度 第1回学校運営協議会 令和6年5月下旬頃予定